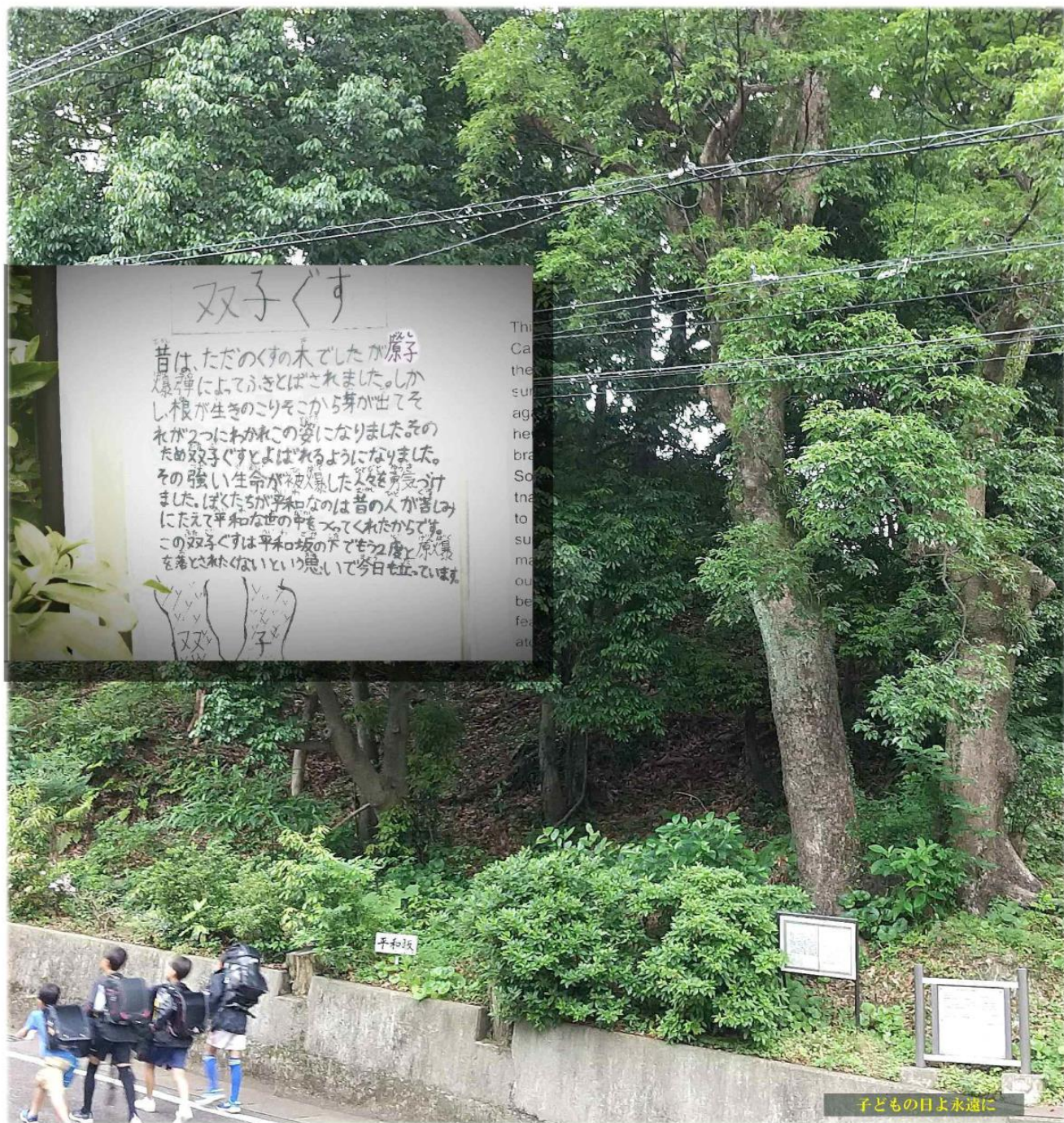


月刊  
JMITU

# 双子ぐす



5月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部  
セガ グループ分会 2023年発行

No.461

## セガ・オブ・アメリカ従業員

### 「AEGIS-CWA」

#### ユニオン結成

グループ会社セガ・オブ・アメリカにて労働組合が立ち上がりました。

労働組合とは、労働者の権利を守り、労働条件を引き上げ、会社に対して要求をし、労働組合員が要求実現に向け、互いに助け合う仕組みを持つものである。

この仕組みは日本とアメリカで違いがあります。労働組合をつくり、組合員になることは日本もアメリカも許可が必要ないが団体交渉の手続きは同じではない。

日本の場合、労働組合員が1人でも団体交渉を受ける義務が使用者にあります。

アメリカは団体交渉の対象となる従業員のうち過半数が労働組合に団体交渉を委ねるという意思表示があつて初めて使用者に団体交渉を受ける義務が発生します。

そこに属する労働者の投票によつて賛成が過半数を超えた場合、その交渉単位の労働組合が団体交渉を行う権利を得ることになる。

アメリカの場合、事業所に過半数を組織していなければ労働組合として認められない、団体行動権は行使できず、ストライキも会社と交渉することも法的にはできないということになります。

AEGISについても投票が6月16日に行われます。賛成過半数で会社と交渉できることを願います。

## AEGISのファン

「我々セガ・オブ・アメリカの社員は、CWAの協力の下、AEGISという労働組合を立ち上げることを宣言します。一致団結によつて自身のみならず同僚全員の権利を主張できることを信じています。

我々はSEGAの社員として、世界中の熱心なファンのために高クオリティのゲームとそれ以外のメディア体験を作成することが目標です。しかしながら労働条件の取り決めに参加することができないことが、この目標に大きな支障をきたしています。

ファンたちに一番高いクオリティの作品を届けるためには労働条件を決める際に自分たちが関与しなければなりません。成長する一方の業界の

中にSEGAが他と比べて負けず劣らずの会社であるようにしなければなりません。

業界平均以下の賃金、行き届いていない給付、不明瞭な昇進進路に対する我々の答えは労働組合の創立です。

市販のゲームは生活賃金を稼ぐ人によつて作成されるべきです。社員のためにも、そしてファンのためにも。一致団結の力を得る過程で会社中の様々な同僚と橋渡しをし、共通の問題と各部署固有の問題を理解しようとしています。一つの例としては、何年間もSEGAに尽力してくれていたにもかかわらず契約社員扱いをされ、有給休暇もなければちゃんとしたトレーニングもなく、忌引休暇すら与えられていない労働者は全体の3分の1ほどいます。

これらの問題は部署ごとに影響の範囲が違えども我々は一致団結して平等かつ多様性のある、誰でも意見を述べられるような会社を作っていきたいと思っています。職種にかかわらず誰もがフェアな待遇が与えられるように努力します。

労働組合としてのミッションは以下の通りになります。

一つ、業界の基準に沿って全体的に給料の上昇。昇給は生活賃金とインフレに基づく。

一つ、給付の改善かつ安定化。医療費給付、退職給付、リモートワークを含む、一つ、昇進の機会を増やし、

### 条件を明確化する

一つ、仕事量とスケジュールをバランス。各職種の責任を定義する

一つ、過労を解消するため適度な増員

上記の要求はすでにSEG Aのコア・バリューに組み込まれています。ミッションの実現は会社を補強し、作成するゲームのクオリティの底上げに繋がります。セガ・オブ・アメリカの労働条件の改善とともに、世界中のSEG Aの支店と引き続き協力していきたいと考えています。

私達、JMITUセガグループ分会は、AGISのミッション（要求）について、

私達が会社へ毎年出している要求、賃上げ、福利厚生、非正規の労働条件の改善、正社員化など合致する部分が多々あります。考え方も似ています。労働組合は同じ要求実現に向かい団結して闘っていきます。今後は連携も視野に入れて交流していきたいと思いません。

### 春闘・夏季一時金妥結

私達労働組合は、2023年春闘・夏季一時金について妥結いたしました。

セガ  
基本給テーブル改定による賃金引き上げ額（平均）

私達、JMITUセガグループ分会は、AGISのミッション（要求）について、  
昇給平均 5769円

合計 47769円

実施日は7月1日

夏季一時金係数 2.75

平均一時金額（一般社員）

990052円

支給日 6月16日（金）

SLS

一般社員平均

本給昇給 741円

評価給昇給 2593円

全社員一律ベア 2000円

合計 5334円

昇給率 1.52%

夏季一時金係数 2.5

平均一時金額

879815円

支給日 6月16日（金）

42000円

ステージ変更による賃金改定

仙洞田一彦

あれからもう二十年くらいたつだろうか。当時、保育園のすぐそばにあるアパートに住んでいた。知人がうちに来た時に言った。

「子供の声、うるさいでしょう」

「全然」

うるさいと思ったことはなかったのですが、そう答えた。子供たちが園庭で駆け回っているのだろう、声が別の声を追いかけているような声が聞こえた。歓喜とも悲鳴ともとれるような声も聞こえる。何かを棒でたたくような音も繰り返し聞こえていた。

子供たちの声も、私の日常

の中に溶け込んでいたのだろう。それで何とも思わなかったのかもしれない。従弟がガード下のようなところに住んでいたことがあった。かなり頻繁に電車が通る。たまらんとしたが、従弟は平気だった。慣れが大きいかもしれない。知人の生活の中には、子供の声はなかったのか。だからうるさく思ったのかもしれない。また子供が嫌いという人だっているから、聞いてみなければわからない。会話はそれきりだった。

子供の声が気になる時期も年に一度、五月にあった。その声が聞こえると不安や、嫌悪感、憤りも混じる気持ちにさせられた。見に行ったことはないが、運動会の練習だろうと思う。普段は聞こえない

若い男の声で、「はい。はい。はい」と聞こえると、後に続いて子供たちの声で「いち、に。いち、に。」と聞こえる。行進の練習だろう。窓を開け放したい、雲一つない陽気であっても、窓を閉め、カーテンを引いた。

ザツ、ザツ、ザツ

ザツ、ザツ、ザツ

と、聞こえるはずのない靴音も聞こえてくる。戦後生まれの私が聞いたはずのない、軍靴の音だ。なぜ聞いたこともないのに軍靴と決めつけるのだ。憂鬱にさせる。不安になる。あの声はうるさいと思った。

引越したので、子供たちが園庭を駆け回るときの歓声も聞こえなくなった。ところが歳のせい、空耳というか、

時折軍靴の音が聞こえるようになった。

雨の日以外は、できるだけ散歩するようにしている。歩くことが出来るうちは歩いたほうがいい。ボケ防止のためには、決まった道だけでなく、知らない道も歩いたほうがいらしい。いつもの道を歩くよりも、脳に新鮮な刺激を与えるからかもしれない。住んでいるところの周りだけなら、歩きつくして刺激もない。電車に乗り、めったに降りたことのない駅で降りて歩くこともある。

その日、天気予報では雨の心配はないという。湿度も低い。願ってもない散歩日和だ。にわか雨の予報なら、折り畳み傘を持って歩かなければならない。それは荷物になる。

今日には必要ない。どこもそうだが、駅につながる商店街がある。午後三時ごろ、車が入れないように商店街入り口には、進入禁止マークの付いた柵が置いてあった。自転車も引いて歩くように注意書きがある。

歩くこと自体が目的だから商店に入ることもない。ただぶらぶら歩く。しばらく歩き、人通りもまばらになったところ、私とちやうど同じくらい歳の男がショーウィンドーの前に立っていた。若者は皆半そで、Tシャツだが、男は私と同じように薄物の長袖の上着を着ていた。

男はショーウィンドーの前で自分の手を開き、視線を自分の手のひらに落としたり、ショーウィンドーにやったり、

交互に動かしていた。少し離れたところで立ち止まって男に目をやった。ショーウィンドーに手の絵が描いてある紙が貼ってあった。すぐそばに離れたところでも見える大きな字で「手相見ます。一〇分二千円」とある。

道路の両側には、ところどころベンチが置いてある。私はそこに腰を下ろした。

そうか、あの絵は手相の見方のか。オヤジ、今頃手相見てどうするんだ。いまさら運勢でもないだろう。

私はその男が、声をかけても振り向かないのではないかと思うほど熱心に、手を見ているのを見て、声に出さずに語り掛けた。

人生の最終盤を迎えている。自分の人生が幸運だったのか、

不運だったのか、もう決まりはついているだろう。後ろ姿から判断するに、着ているものも高そうではないし、履いているものときたらかかとの底のすり減ったサンダルだ。でも、まあ、この先「幸運」と出れば、短い老い先、明るく過ごせるかもしれないな。

視線の先の男がショーウィンドーの上を見た。そこには「一〇分二千円」の文字がある。私には「二〇分二千円」が高いのかどうかわからなかったし、「二〇分」の意味もよくわからなかった。詳しく聞きたい場合は追加料金が必要ということか。

倍の四千円出しても、先の運勢が「幸運」で、それが的中したなら安いかも知れない。それにしあって、オヤジ、そ

んなに切羽詰まってるのか。また、声に出さずに語り掛けた。

ザッ、ザッ、ザッ  
ザッ、ザッ、ザッ  
ザッ、ザッ、ザッ

どこからか聞こえてきた。不安と憂鬱、恐怖も交じって聞こえてきた。

あっ、あの男が、手相見の店のガラスドアを押して、中に入っていた。

ひよっとすると、手にひどい相が表れていたのか。それで思わずドアを押し開けたのか。幸運の相だったら、そのまま一人微笑みながら帰るだろう。爺でもスキップくらいするかもしれない。

男の立っていたところに行き、私も絵の前で手を開いて見比べた。